

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

～新年度がスタートしました！～

やわらかな芽柳が目まぶしい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？新型コロナウイルス感染症も今だ終息が見えない中、5月には感染症法の分類が5類へと引き下げになりコロナ陽性者や濃厚接触者に対する外出自粛要請等の行動制限も終了します。ウィズコロナという方向に進んできていますが私たちは今後も緩む事無く基本的な感染対策を継続し利用者様に安心して過ごして頂くよう取り組んで参ります。さて、今年度の照陽の家、ハートケア協働目標として『パーソンセンタードケアのさらなる理解と実現へ』を掲げました。『パーソンセンタードケア』とは「その人を中心にしたケア」です。お身体の状態や疾患だけを観るのではなくその背景にある生活、環境等を把握しその行動の意味も考えながら一人の人として尊敬するケアを目指していきます。「その人らしくいつまでも」の理念の下、利用者様に笑顔の花が咲く、そんな照陽の家でありたいと思います。今年度もご支援ご指導を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

照陽の家 管理者&感染対策委員長 石場 圭子



ぽかぽかと暖かい日が続く早々と照陽のきれいなチューリップたちが咲きそろいました。利用者様と外へ出て暖かい陽を浴びていると自然に『咲いた～、咲いた～、チューリップの花が～』と口ずさみます。これからいよいよつつじ、バラ、あじさいなど様々な花を見に、外出が楽しみな時期となりました！！



研修参加 報告書



「高齢者と楽しむレクリエーション～レクリエーションの意味、目的、効果について～」オンライン研修（鳥取県社会福祉協議会が主催）に参加しました。照陽の家のレクリエーション担当者として日頃より様々な内容を相談し実施しているつもりでしたが今回、その意義について改めて振り返る事が出来ました。研修では利用者様が楽しさを感じたりお互いの親睦を深めたりするだけでなくそのレクリエーションが利用者様の治療やリハビリにどう結び付くのか目的や効果までしっかり考えて行うこと（セラピューティック・レクリエーション）が大切であり、そうしたレクリエーションを行うにはまず利用者様が歩いて来られた人生を知ろうとする事、ご家族様や他職種との情報連携が必要であると学びました。具体的なレク計画の立て方を学んだ後はグループワークで事業者同士の交流がありレクリエーションに関する意見交換や悩み相談もする事が出来とても勉強になりました。今回学んだ事を活かして利用者様にもっと楽しく有意義な一日を過ごして頂けるよう少しずつでも前進していこうと思います。（レク担当）岩酒安友子 澤田清美

地域交流

角三自治会活動のゴキブリ団子づくりに参加（角3公民館）

コロナ禍、自治会活動も久しぶりの開催で照陽の家から利用者様と職員の4名が参加しました。まずは大きなボールにホウ酸粉、小麦粉、砂糖、牛乳、みじん切りの玉ねぎ、茹でたじゃが芋を入れた材料を用意し「混ぜる担当」は利用者様に任せられました。玉ねぎが目にも染みるも何のその、頑張る手に力が入ります。「なんだか美味しそうな物ができたね。ゴキブリにやるのもったいないね。」そんな会話が弾む中、持ち帰り乾燥させてから使います。自治会の皆様、私達を温かく受け入れて頂きお世話になりました。



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



スタッフ紹介



看護師
竹林尚子

照陽の家 ハートケアに看護師として入職して8年目を迎えようとしています。これまで病棟や他の訪問看護ステーション勤務をしてきましたが当施設に入職当初、これまで感じていた施設のイメージとは違い利用者様の笑顔が見られ利用者様のために、という職員の思いが伝わってくる対応に驚いたことを覚えています。照陽の家で働く内に利用者様の直接ケアだけでなくその生活全体を知る事で利用者様をより身近に感じ寄り添う事が出来る看護に魅力を感じるようになりました。介護保険内での活動にもどかしさを感じる事もありますが看護小規模多機能型居宅介護事業所の強みを生かし必要時には手厚い対応が出来るようこれからも奮闘していければと考えています。